

社協だより

第188号
令和7年
5月10日発行



3月の春日和、小木町商店街にある金子屋商店できっちゃんさくらによる「地域食堂」が開催されました。末広堂での開催を皮切りに毎月実施され、今回で4回目です。小木地区の中でも小木町は高齢化率が高い地域です。この町で活躍した先輩方にいつまでも元気でいてもらいたいという思いから、冬場の閉じこもり予防や地域住民の交流の場の提供を目的にして開催しています。住民の力もあり少しづつ活動が地域に広がって、この日は多くの方に参加いただき、たくさんの笑顔が見られました。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<https://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

佐渡市社協

検索



佐渡市畠野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

～令和7年度 佐渡市社協の取り組み～
誰もが安心して暮らすことができる
福祉のまちづくりを推進します



【重点目標】

- 第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- 介護サービス事業の効率的・安定的な運営
- 福祉センター等の有効活用

【実施計画】

つながり、支え合うまちづくり

- ❖ 地域での見守り・声かけ体制づくり
- ❖ 相談支援、情報提供体制の充実
- ❖ 健康・生きがいづくりの推進
- ❖ 健やかな暮らしを支えるまちづくり
- ❖ 支え合い意識の高揚と活動への支援
- ❖ 地域で活躍する人材育成・ボランティア活動支援
- ❖ 子育てにやさしい地域づくり

介護サービス事業の
経営強化と発展

- ❖ 訪問介護事業所の経営
- ❖ 通所介護事業所の経営
- ❖ 認知症対応型共同生活介護施設の経営
- ❖ 訪問入浴介護事業所の経営
- ❖ 居宅介護支援事業所の経営

安全安心で住みやすい
まちづくり

- ❖ 地域の防災・防犯体制づくり
- ❖ 善い暮らしやすい生活環境づくり
- ❖ 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進

● ● ● ● 令和7年度 収支予算 ● ● ● ●

*収入の部

(単位：千円)

科 目	収 入 額
会 費 収 入	7,207
寄 附 金 収 入	1,100
市 補 助 金 収 入	150,974
共 同 募 金 配 分 金 収 入	7,330
受 託 金 収 入	317,752
助 成 金 収 入	2,313
介 護 保 険 事 業 収 入	1,108,289
障 害 福祉 サービス 等 事 業 収 入	85,833
積 立 資 産 取 崩 収 入	69,135
そ の 他 収 入	50,995
事 業 区 分 間 繰 入 金 収 入	5,262
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	26,693
合 計	1,832,883

事業計画の詳しい内容はホームページまたは社協の各窓口でご覧いただけます。



*支出の部

(単位：千円)

拠 点 区 分	支 出 額	
法 人 運 営 事 業	231,144	
地 域 福 祉 事 業	146,149	
共 同 募 金 配 分 金 事 業	7,330	
介護保険事 業	訪 問 介 護 事 業	310,854
	通 所 介 護 事 業	610,979
	グ ル プ ホ ー ム	91,880
	訪 問 入 浴 介 護 事 業	26,937
	居 宅 介 護 支 援 事 業	120,989
在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	7,292	
老 人 福 祉 セ ン タ ー	1,539	
資 金 貸 付 事 業	1,931	
施 設 経 営 福 祉 セ ン タ ー	19,514	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	143,057	
成 年 後 見 事 業	56,703	
生 活 困 穷 者 自 立 支 援 事 業	27,124	
そ の 他 の 事 業	4,811	
合 計	1,808,233	

みんなが福祉のサポーター

地域の福祉活動は、皆さまからの会費に支えられています

今年も社協会員への加入および会費納入にご協力をお願いします



※上記は会費を活用して実施する事業の一例です。

一般会費	一世帯当たり	市内の全世帯にお願いしています。
	500円	
賛助会費	一 □	特にご賛同いただける方や、商店、企業の皆さまにお願いしています。
	1,000円	

*一般会費の納入につきましては、各地区の代表や役員の皆さまを通じてお願いさせていただきます。

*賛助会員は年間を通して募集しております。ご賛同いただける方はお近くの社協窓口までご連絡ください。お待ちしております。

*社協の事業計画につきましては、ホームページまたは社協の各窓口で詳細をご覧いただけます。



あたたかいご寄付をありがとうございます

令和7年2月16日～4月15日受付(順不同)

OGIチャリティーカラオケフェスティバル実行委員会	内田商店 様	1,093円	
実行委員長 金子 友也 様	11,992円	東后 昭一 様(高千)	47,000円
赤泊婦人会 様	箱ティッシュ60箱	池野 俊昭 様(新穂潟上)	おしぶり100枚
内藤 成浩 様(河原田本町)	フェイスタオル60枚	HCS新穂 様	36,572円
佐渡潜水株式会社 様	乾燥わかめ、昆布	羽茂コーラス さきくさ 様	50,000円

【匿名寄付】 6件 〈現金〉282,000円 〈物品〉紙オムツ8袋・尿取りパッド7袋



大人も子どもも みんなおいでのよ！

地域食堂

佐渡市社協では「食」のある交流の場を「地域食堂」と呼んでいます。他の地域では「子ども食堂」と呼ばれることが多いようだ。子ども食堂は主に子どもの居場所づくりや、不登校対策などを目的に開催されていますが、回数を重ねるうちに子どもだけでなく地域全体が元気になつてもらいたい趣を耳にします。

感染症がまた延して「ソーシャルディスタンス」が叫ばれたことが過去の出来事になりつつある中、「ようやくコロナ禍を乗り越えたと思つたら、地域住民の交流がなくなつていた」「地域のつながりが薄くなつた気がする」と感じてもらふ方も多いのではなうでしょうか。コロナ後に再開した地域の茶の間やサロン活動もたゞさんあります。もう少し幅広い年齢層が交流するきっかけとして、「食」のある集まりをおすすめしたいと思います。やっぱり、一緒に食べるつこものですね。特別な食事じゃなくても大丈夫。おにぎり一つだって、いつものカレーダ식で、みんなで食べるといつもなのです。

みんなで一緒に 食べてみました



羽茂地区

(会場：羽茂農村環境改善センター)

小木地区

(会場：末広堂)



赤泊地区

(会場：やすらぎ)

佐和田地区

(会場：常設の居場所ほっとてらす)

このページの内容に関するお問合せは地域福祉係(☎81-11-555)まで



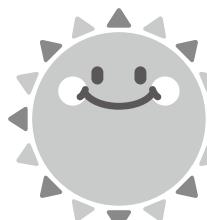
真野地区

(会場：豊田集落センター)

真野の豊田地区では、民生委員の方から社協への相談がきっかけで地域交流が再始動しました。「口ナの影響で地域の行事がなくなつてから、交流の機会が失われたままで寂しい。」 こうお話をから、地域の皆さんがどんな風に感じていいのか話をしてもうひと懇談会を開いたといふ、「とにかく交流したい・何かやろう!」と一致団結。すぐにチームが立ち上がり、住民同士が定期的に顔を合わせられるように、月1で集落センターを開かることになりました。さらに、直近のひなまつりに合わせて「おこし型だんじ作り」とちりし寿司で楽しむひな祭りの「ひじき」を計画。おこし型作りや「コーディック」の先生は、地域の方々にお願いしました。(上の写真は当日の様子)

地域の人材を活かして、地域の皆さんができるたいと思うことを実現する。とても理想的でありながら、一番身近な方法でもあるのではなうか。どの地域にも、色々な趣味や特技をもつた人がいらっしゃると思います。竹とんぼ作りが上手な方、フーフーフーラレンジメントが趣味の方、紙細工が得意な方など、地域の人材を活かした集まりはオリジナリティがあって最高です。ここに「食」がプラスされれば、お腹も心ももう満タン。

まずは一度、皆さんのが地域で開いてみませんか?もちろん、社協がサポートします。お気軽に連絡くださいね。



ボラ日和



ボラ日和に関するお問合せは
佐渡市ボランティアセンター
☎81-1155



(佐渡市ボランティアセンター公式LINE画面)

最新情報配信中!

まずは登録をしてみましょう。

新しいスタートの季節。最近は、退職後のセカンドライフとして始める方も増えています。習慣的なボランティア活動は、外出や交流の機会を増やし、社会貢献ができる活動ということから、認知症予防や健康長寿に効果が高いと言われています。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に関する相談、紹介、情報の発信などを行っています。窓口は、社協本所・各支所・地域センター内にあります。興味のある活動などをお伺いして、活動におつなぎします。お気軽にご相談ください。

まわは、佐渡市ボランティアセンター公式LINEのお友だち登録から、施設や団体でのボランティア募集の情報を発信するのもできます。お問合せください。

「募集中のボランティア」を押す

募集中の活動を見ることができます。気になる活動がありましたら、お気軽にご連絡ください。デイサービスでは歌や踊り、演奏、マジックなどを披露してくださるボランティアも募集しています！

（主な補償）

①活動中のケガの補償。（活動先の往復途上も対象）
②活動中の賠償責任の補償
協議会で発定した制度です。活動中は、思ぬ事故やケガをしたり、活動先で誤って物を壊してしまったりする可能性があります。ボランティアを始める際は、ぜひ加入をご検討ください。

ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中に起こる様々な事故に対する備えとして、全国社会福祉協議会で発定した制度です。活動中は、思ぬ事故やケガをしたり、活動先で誤って物を壊してしまったりする可能性があります。ボランティアを始める際は、ぜひ加入をご検討ください。

（主な補償）

①活動中のケガの補償。（活動先の往復途上も対象）
②活動中の賠償責任の補償
協議会で発定した制度です。活動中は、思ぬ事故やケガをしたり、活動先で誤って物を壊してしまったりする可能性があります。ボランティアを始める際は、ぜひ加入をご検討ください。

SNSで情報発信中
佐渡市ボランティアセンター公式LINE



ボラセンE
二次元コード

加入申込

社協本所・各支所・地域センターにある加入申込書により手続きができます。

年間保険料

基本プラン 一人350円

加入期間

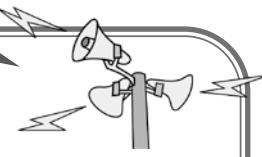
申込み手続きをした翌日から、その次の3月31日まで

防災インフォメーション

風水害

津 波

地 震



ハザードマップで自分の家がある場所に色が塗られている場合、浸水や土砂災害の恐れがあるので原則立ち退き避難が必要。

大雨により警戒レベル3発令(高齢者等避難)

安全な場所に親戚や知人がいる場合は避難させてもらう。いない場合は市町村から発表される情報をもとに避難。

警戒レベル4発令(避難指示)

レベル4までには必ず避難。避難できなかった場合は「2階以上」かつ「崖から離れた部屋」で安全を確保。



地震発生



強い揺れや、大津波警報・津波警報の発令。

安全を確保し、現在いる場所の状況を確認。火災などの危険の有無を確認。

津波浸水想定区域や川沿いの人は、直ちに高台等の安全な場所に避難。

指定緊急避難場所(広域避難場所)へ避難。

自宅の状況を確認し、被害が無ければ在宅避難。被害が大きかった場合は指定避難所等へ避難。

避難場所及び避難所について

●指定緊急避難場所

緊急時において安全が確保される場所

●指定避難所

避難者や被災者が避難生活を送る施設

●地区避難場所

災害の状況により地域が独自に開設する場所や施設

災害時の避難行動について考えることはありますか?大きな災害が頻発している近年、普段から有事に備えて準備しておくことはとても重要です。災害の種別によっても避難行動は変わってきますので、ハザードマップの確認や避難先・経路について一度確認しておきましょう。

災害発生時、あなたの行動は?

事業所が移転します

「社協ヘルパーステーションまごころ」と「社協訪問入浴介護事業所」は、旧畠野母子健康センター内へ移転することになりました。サービスの提供範囲や業務内容に変更はありません。今後ともよろしくお願ひいたします。

移 転 日:令和7年6月1日(日)

新 住 所:佐渡市畠野甲531番地2

(旧畠野母子健康センター内)

電話番号:社協ヘルパーステーションまごころ 81-1621

社協訪問入浴介護事業所 58-7180

FAX番号:66-4152(共通)

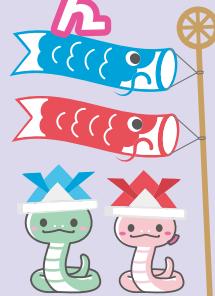
※電話番号・FAX番号はこれまでどおりです。

187号の「まちがいさがし」の答え



★ 今日は令和7年生まれのかわいいへび年さんのご紹介です★

輝く島の へび年さん



★自薦・他薦を問わず、元気な巴年の方を募集しています。応募が集中した場合は、期待に添えないこともありますので、ご了承ください。

● 加門 瞳都ちゃん (両津地区)



たくさんの人人が、瞳都に会えるのを心待ちにしていたよ。元気には産まれてきてくれてありがとう。いっぱい食べて遊んでよく寝て大きくなつてね。



● 高柳 一葉ちゃん (貢野地区)

祖父、父、兄と同じ「一」という漢字を使って名づけました。生命力に溢れる葉のようにスクスクと育ち、2歳年上の兄と一緒に、楽しく毎日を過ごしてほしいと願っています。

● 中川 桜花ちゃん (佐和田地区)

お兄ちゃんと同じ誕生日の1月25日に生まれて来てくれた桜花ちゃん♡毎日たくさん笑ってたくさん食べて元気に育てね！大好きだよ♡



● 平田 翠ちゃん (小木地区)

鳥のかわセミのように美しい翼でどこまでも飛んでいけるよう。そして太古から世界中で宝とされたヒスイのように、どこへ行つても愛されれるよう。すくすく育つて飛んでゆけ！

こども向け企画

Q
社協はいつからあるの?
何をしているところなの?

Q
子ども向け企画

Q



社協の誕生は1908年の10月。地域の福祉を支えるために活動しているよ。

A
A

10月。地域の福祉を支えるために活動しているよ。

しゃきょうしゃかじふくじょうざかい
社協(社会福祉協議会)のはじまり

社協のはじまりは、今から117年前にまでさかのぼります。もともとは孤児の保護や貧困層の救済などが活動の中心で、「中央慈善協会」という名前でした。初代の会長は「渋沢栄一」なんだか聞き覚えのある名前ではあります。昨年7月に発行された新しい1万円札に描かれている人物です！その後、組織の変化を重ねながら発展し、戦後の1951年に法律に基づいて中央社協(今の全国社会福祉協議会)と都道府県単位の社協が誕生。市町村単位の社協も次々と誕生し、1983年にはすべての市町村に設置することができました。佐渡市社協は住民の皆さんや民生委員・児童委員の皆さん、社会福祉施設や市役所などと協力しながら、佐渡の人みんなが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようになります。活動を行っています。「さまざまな活動」が何なのがが重要なのですが、とても幅広くて数も多いので、残念ながらこのコーナーでは説明しきれません。そこで一学校や地域の集まりなどでお会いできたらとても嬉しいです。社協についてもつと知りたいと思つていただけた方！ぜひ、学校の先生やおうちの人伝えてしまつただいね。